

# 医療法人宏善会 諫早記念病院

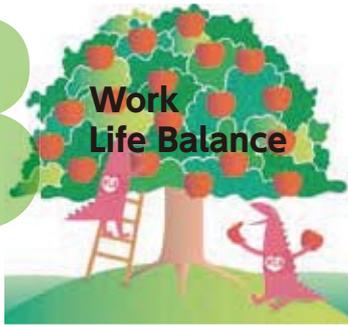
諫早市天満町2-21

## 【病院の特徴】

患者様やご家族の要望に常に耳を傾け、心のこもった信頼される看護の提供に努めております。「こころと手を使ったケア」として「アロマセラピー」を取り入れ、認知症、不眠、冷感、終末期の患者様に好評です。また住み慣れた地域に早く退院できて長く生活できるように退院後訪問や訪問看護等に力を入れております。循環器、糖尿病の医療看護は地域の中心となるように努めております。明るい職場、譲り合いの精神があることと看護職のキャリアアップ支援があることで在職年数が年々伸びているのが特徴です。



- 【設置主体】 医療法人宏善会
- 【病床数】 急性期一般病床34床、地域包括ケア49床  
地域包括ケア病床+療養病床29床
- 【病床稼働率】 86%(2018年度)
- 【入院基本料】 一般7対1、地域包括ケア入院医療管理料1、療養病床医療管理費1
- 【看護職員数】 看護師・准看護師90人(正規74人、短時間正規3人、非正規16人) 看護補助者31人
- 【看護職の平均年齢】 看護師40.8歳、看護補助者39.7歳
- 【離職率】 2.4%(2018年度)



平成28年度の取り組み

### 主な取り組み

#### プラン1

- ◎WLB推進体制作り
  - ・委員会ネーミングとキックオフ宣言

#### プラン2

- ◎看護部の現状把握
  - ・業務内容調査、インデックス調査、業務量調査にて看護部の問題の洗い出し

#### プラン3

- ◎看護ケア時間確保のための業務改善と労働実態の可視化

#### プラン4

- ◎病院側及び総務課との連携

### 1年目(平成28年度)

#### 👑 1年目の成果

- ◆「よかばっ会」とネーミングし月1回委員会開催。部署と掲示板にポスター掲示。
- ◆看護部現状:「雑務、中継業務が多い」「看護ケアに費やす時間を十分に取る事が出来ない」内容として処方指示待ち、申し送りに時間がかかっている
- ◆業務改善
  - ・定時処方時間の決定と臨床担当者会議にて周知
  - ・朝礼時間変更
- ◆病院就業規則の周知
  - ・総務課から就業規則説明会を6回開催

インデックス調査と委員会でのディスカッションから看護部の問題が明確化された。委員会は仕事の「やり易さとやりがい」を目標と決定

平成29年度の取り組み

#### プラン1

- ◎看護ケア時間確保のための業務改善と労働実態の可視化
  - ・可視化項目の決定
  - ・年度の業務改善項目決め

#### プラン2

- ◎病院側及び総務課との連携

### 2年目(平成29年度)

#### 👑 2年目の成果

- ◆時間外処方件数、年休取得状況、時間年休、連休取得状況、引継ぎ時間を可視化項目とした
- ◆業務改善
  - ・オムツ使用代金を病院管理へ変更
  - ・配茶を栄養科へ委譲
  - ・朝の引き継ぎ時間短縮への取り組み
- ◆やりがいのための「やりたい看護」の模索
- ◆夜勤手当アップ、時間休暇・有休取得の奨励

オムツ使用代金を病院管理へ変更及び配茶移譲等の業務改善により看護補助者の保清時間確保や看護師の訪室ケアにつながった。また連続休暇、時間休暇等の奨励及び病院からの夜勤手当アップ等の支援も拡大され病院帰属意識も上がり離職率も更に低下。各病棟「やりたい看護」を模索し病院ビジョンの「心のこもった医療」に沿った退院後訪問やアロマトリートメントの拡大に努めると決め、取り組み始めた。

平成30年度の取り組み

#### プラン1

- ◎看護ケア時間確保のための業務改善と労働実態の可視化
  - ・他引継ぎ時間の短縮(朝、夕)他施設見学
  - ・超音波治療のリハ科委譲
  - ・入院請求書渡しを医事課へ委譲
  - ・検体回収を検査科へ移譲
  - ・各データの可視化継続

#### プラン2

- ◎病院側及び総務課との連携
  - ・「入学お祝い金」の新設

#### プラン3

- ◎WLB推進活動評価
  - ・インデックス調査
  - ・業務量調査

### 3年目(平成30年度)

#### 👑 3年目の成果

- ◆超音波治療をリハ科に移譲(患者安眠へ)
- ◆入院請求書を医事課へ委譲(患者家族の質問に即対応)
- ◆「入学お祝い金」の新設にて子育て世代の帰属意識が上昇
- ◆引継ぎ時間:朝10分前後、夕25分前後(各10分改善)
- ◆始業前残業是正:始業開始時間を守ること、始業前残業がなくなった。結果、職員の生活に余裕ができた
- ◆当院WLB推進活動が長崎新聞に掲載

#### 3年間の成果

看護ケアに十分費やせる	40%⇒41.1%	時間年休取得件数、5連続以上の連休取得:共にアップ
自分の能力向上となる	56.4%⇒61.2%	在宅訪問件数:142件/年、アロマセラピー:688件/年
必要に応じ休みが取れる	72.9%⇒82.3%	(患者から好評、共に少しずつ件数上昇、アロマトリートメントで看護師も癒された)
労使関係	40%⇒75%	
離職率	5.4%⇒2.4%	

#### 課題

- ・夕方の引継ぎ時間の短縮、夕方のサービス残業の是正
  - ・業務改善を繰り返して在宅訪問件数、アロマトリートメント件数も増加させる
- ★上記から更に仕事の「やり易さとやりがい」に繋ぐ

### WLB推進事業に取り組んで

3年間のWLBの取り組みで小さな業務改善が沢山できた。その後も委員会活動は継続し、令和元年度の取り組み事項は医事課、営繕課、売店と連携し(1)紙おむつの変更に取り組んでいます。目的は①業務改善②患者様経費の軽減③地球に優しく(ごみを減らす)です。看護部独自では(2)前残業の是正①申し送りの廃止または時間短縮②患者情報収集の変更を実施しています。働き方改革ややりがい感の向上は看護部だけでなく院内全ての職員の課題ですので引き続き他部門とも連携し更に一人一人が自分の施設を愛し働き易く、やりがいを持てるように努めていきます。

看護部長 中尾 理恵子